開院式を祝する大附錄

本月末には天皇陛下帝國議會に親臨して開院式を行はせ給ふ時事新報は此盛典を祝する爲め帝國議會貴衆兩院の内部を精密なる石版畫に寫し**開院式の當日之を附錄**として配布し且つ臨時紙數を增刷す

當日の紙面に廣告を掲載せんとせらるゝ方は來る二十六日までに本社へ申込みありたし斯期日を過ぎては廣告の依頼あるも謝絶する事あるべし

十一月　時事新報社

帝國議會の議事筆記

帝國議會も愈々本月末を以て開會するに就ては本社は當春來**印刷器械を增加し器械場を新築**する等兼て其準備を整頓し居れば開會中は臨時に日々の紙面**二頁乃至四頁**を增加して**詳細なる議事筆記**を掲げ別に記者を議場に派して議事の模樣幷に各議員の議に付**詳細なる批評及記事**を連日の紙上に登錄すべし且つ開會中新報の**配達遞送を神速**にするの用意も既に整へたれば開會の當日よりは詳細なる議場の記事を紙上に掲げ且つ其配布を速にし全國の讀者をして日々議場に出入するの思ひあらしめ以て平生の愛顧に答へんとす

廿三年十一月　時事新報社

時事新報定價

時事新報へ一年三百六十五日一日も休刊せず其代價遞送料廣告料へ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に郵便の實費を申受く可し

時事新報

金　力

世務に精へ人事に練してツラ〳〵其起伏消長する所以を觀察するに都て是れ金力の作用にあらざるはなし金なくして何の文明かある、金なくして何の幸福かある、金なくして何の威權かある、金なくして何の自由かある、金なる哉〳〵我輩は金そのものを貴ぶにあらず金の力の偉大靈妙なるに驚いて國家の爲め吾人の爲め處世居家の務を講ずるみと久しかりしに此程又もや一報の讀者に達せざるものを得たり世人も知る如く歐西諸國にては夙に外人の入來を喜ばざる中にもヨーロッパ人種が蠻刑に巧みにして又その宗教の國教に利ならざる所より何卒して之を國外に放逐せんみと企て間接直接に困難を與へて政府の命令も人民の交際も共に慎誡の理由を有するもの少なからざりしかば此事イッシカ英國無敵の金錢家ロスチャイルド氏の耳にも達して痛く其無情を刺激したり蓋し氏も亦ユー人種の一人なれば同胞の酷遇せられて汚辱の一般に及ぶを聞くに堪へず露國に對して報復の手段を講じけるに差向き簡便なるは金の融通を止むるに過ぎるみとなければ自今以後露國との金融取引は一切拒絶すべしと先頃よりイヨ〳〵實行に着手せりといふ抑も露國は歐洲屈指の强國にして祖宗の遺謀に從ひ他國を侵略するに鋭意なれば諸小國の之を畏怖するみと斜ならざる上に其一進一退は以て歐洲の治亂を左右するに足るものなれども金融に至りては官民一般決して圓滑ならざるの有樣なるが故に今最大の資本主たるロスチャイルド氏の感情を犯して一朝取引を拒絶せらるゝに於ては露國が忍ぶ可らざるの困難に際會せんみと必ずしも數年を俟たざるべし露國若し金融の困難に打勝つべきの成算あれば即ち妙なり不幸にして然らざる限りはユー人種放逐の一事も先づ反對に降參を乞ひ會稽の屈辱も官民ともに忍耐して暫く薪に坐し膽を嘗むるの外なかるべし四海に名高き大國にして眇々たる一丈夫の一擧一笑に動かされ惴々焉として鼻息を窺ふの止むを得ざるに至る所以のものは抑も亦何故なるや王侯將相も其貴きを失ふとは夫の浩然之氣に非ずして全く金の力に由るみと今目前に見るが如し

慷慨事を決するは易く從容事を理するは難しと古人も云へり若しも露國が此際に於てロスチャイルド氏より意外の金離を差向けられたる所以を究めず善後の工風を第二として快を一時に取るの無謀をなさば其事蓋なりと雖も誰か其愚を笑はざらん空しく心靜に時の否運と諦めて官民ともに有らん限りの力を盡し漸次富力を增進して强國の二字に冠するに富の字を以てするみその洵に國に盡すの大義なれ未だ此大義を全ふせずして折に觸れ隙に乘じて漫に壯快の曾行を好むものは我輩は之を目して輕躁者流と云ふの外なし從容事を理するとは決して此の如きものに非ざるべし之を喩へば大病の苦みに呻吟せざればとて未だ勇者の名を許す可らず其平生に於て能く養生を慎しみ嚴に放心の導くを斥け自から保期の覺悟を期かざるみを始めて其心中の奥床しきを徴すべきなり顧ふに我國も資力甚だ乏しきを爲めに文明富强の實を見るみと能はずして百事百業意の如くならざるを憾ひのみなれば國民たる者は朝野相共に心を潛め養生の大義を適用して以て國の健康を養はざる可らず既往現今に於ても實力欠乏の爲め容相の汚辱は必ずしも前條の一報を見て始めて驚くべきにあらず今にして警戒する所あらんは將來も亦將さに然る可し蓋し彼の一報は金の逆用にして其威力恐る可しと雖も其順用の力も亦無限なるを知る可し事に大小の相違あるそれ我日本國のロスチャイルドは紛れもなく三菱社にして其金力の向ふ所天下に敵を見ず幸に今日同社の金は都て順用にして未だ人を困せしめたる跡なしと雖も一朝偶然の機に際し英國のロスチャイルドが露國に於けるが如く三菱の資力を以て日本の商賣社會を弄ぶみともあらんには大象の群羊を蹂躙するに等しく無數の商人子遺なきに至る可きは何人も想像に難からざる所ならん値に三菱の小資產にても日本國に於ては斯の如し世上に經濟の士人少からず日本を離れて海外交明國の富實を思へば前途尙は遙なりと云ふ可し我輩が常に愛國の大義は文明の外形を模倣するに非ずして內の富實を務むるに在り、政治を談ずるよりは金を造るに在りと心を注いで世上に訴へたるは讀者の定めて記憶せらるゝ所あらん是れ決して奇論に非ざるなり

雜報

○淺多川浚渫に就て　此程の滋賀縣臨時縣會に於て瀬多川浚渫の仲を議決するや京都府郡部會の議員三名は去る十九日滋賀縣會議員を訪ふて事情を聞き糾し歸りて建議書を郡部會に提出せんとて頻に協議し居るよし其建議の大意と云ふは該浚渫工事にしていよ〳〵出來すれば淀川筋の水量は自然增加すべきに依り被害上の調査を京都府廳に托し滋賀縣廳へは其の調査の終結する迄工事に着手せざる樣申込み又た內務大臣にも容易に起工の許可なき樣請願せんとするに在て二十一日の通常郡部會へ之れを提出したるも別に反對論なく可決したるよし而して同浚渫工事に就ては大坂府下東成、西成、茨田の有志者も大坂府下に於ける淀川沿岸の損害少なからざる事を憂へ此程西村知事を府廳に訪ひ浚渫工事に對する知事の意見を問ひしかば知事は早晩物議の生せん事を慮り既に滋賀縣知事へ問合せたれども十分の回答なければ更に條件を分ちて詳細の回答を求め時宜に依らば特に書記官を遣して親しく工事の仕樣等を聽取らしむる見込なりと答へしとなり

○福井縣下政談の模樣　福井縣下に於ける政談社會の變遷なりとて福井より報じ來れる處に據れば維新以來政治の事を彼是喋々するものは士族流の人なりし事全國一般の有樣なりしに福井縣下は稍や之に反し現に福井市の如きは同縣下の第一市街にして松平侯の居城ありし處なれば士族の數は一萬の上に出でしも空しく政治を談論するものはなく政治談は却て富有ある農商社會の邊に行はるゝ傾なきにあらず而して明治七八年頃より杉田定一氏坂井郡より出でゝ政治上に奔走せしより次第に農家に政談流行し隨て縣會議員の候補者を增加せしは一昨年頃迄の風潮なりしも其餘勢は自然に家政に差響さしより近來は政治上の集會等にも何となく來會者少なく縣會議員の候補者の如きも一種の目的を有する中以下の社會より出るもの多きが如し云々と見えたり

○飲用水に關する騷擾　山梨縣中巨摩郡飯野村にては昔より御敕使川の水を引いて奮飯野新田組と共に飲用に供し水路修繕等の事あるときは相當の割合を立て相共に其工費を負擔し來りたる處本年二月頃飯野新田の人々右の飲用水路は自村の專有なりと稱し俄かに水路の掛繕を緩め用水を飯野村に分たざるやうに爲さんとせしかば飯野村の人民は其不當を鳴らして郡役所に上申せり郡役所に於ては殆く心配して雙方の調和を試みたるも終に成ずして飯野村の方より飯野新田を相手取り甲府地方裁判所に出訴し目下其審理中なるに本月十二日の夜飯野新田の人々突然飯野村に通ずる水路を塞ぎたるより飯野村の人民は非常に怒り直に其妨害を取除けんと騒ぎ立ちしかど村役人之を宥め小笠原警察署へ用水妨害の告訴を爲したり右に付き警察署にては飯野新田の村民に戒諭を加へたるも容易に承知せざるが爲め空しく數日を經過せしかば飯野村にては一滴も飲ひべき水のなき有樣となり村民一同大に激昂し最早此上は一劍も辭せざるなりがたしとて本月十七日の午後四時頃二三百名の者共同村の常樂寺に集り鐘を鳴らし鯨波を上げ各々得物を携へて飯野新田に推出し其騒たる水口を開けり斯くと見るより飯野新田の人民も鬨鎗の類を携さへて馳集りしも相手の人數多くして乘害敵せずとや思ひけん誰れわりて手出しを爲すものなく警方脫合の處へ警察官引取らしめたれども警官の出張を請ふて事情を聞き糾し歸れと村役場に於ては警官の出張を請ふて巡査の盡力に依り在巡査の盡力に依り報に見えたり

○新任米國領事の鮮語　新任米國領事のアンドラ ゴーウエー氏は港せしゝンキ號にて來てても待受居りしに同領事よりは未だ公錢あらざる由なれは現任領事グリと云ふ

○外國人の無禮　横濱の外國人某は切手を所持せざる外國人某は切手を四十五分横濱發新橋行の汽車に席を占め婦人に向ひ傍に席を占め婦人に向ひ切手を所持せざるにも拘はらず頻りに來りて切手を吟味せざるを拂ふべき旨を述べたるものなれば之を聞き直に下車して平塚行の汽車に發車せしかば止を得ず汽車を待たんとて婦人樣を見て自分も亦新橋に出でし待合室に入り再び婦人を見て自分と共に上等車に乘り折柄鐵道局の書記來り且つ婦人の困却するを見て自分も程なくして同書記の婦人を苦しめし故意は二三の婦人を待受て來りて立退を命じたるなれば書記は止を得ず婦人の發車まで室內に留まり自分の支配人に報知したる事を肯せず解屬する事を肯せず

○衆議院議員の席順　以て左の通り定めたる

一番　植本　正雄
四番　飯田　茂吉
七番　大谷木權一郎
一〇　森　時之助
一三　河野　光晉
一六　伊藤　熊夫
一九　鈴木　知常
二二　浮田　桂造
二五　箱池　保二
二八　横山助三郎
三一　山田　寒江
三四　山田　東次
三七　虎島　秀雄
四〇　石田貫之助
四三　內藤　利八
四六　佐藤文兵衛
四九　富泉　章太
五二　牧　朴眞
五五　相原　平蔵
五八　加藤　勝鎮
六一　小林雄七郎
六四　關矢孝左衛門
六七　鈴木　藤司
七〇　高田　早苗
七三　野口　愛
七六　山中國之助
七九　高橋仲次郎
八二　千葉謙太郎